

来ちよくれ、見ちよくれ、やっちよくれ

立命館アジア太平洋大学（APU）は山の上に位置し、風光明媚な別府湾の景色が一望できます。別府市は人口比で見ると、留学生が日本で一番多い町でもあります。犬も歩けば…という諺がありますが、外を歩けば様々な国から来た学生達に遭遇するでしょう。別府というと時代遅れの温泉街をイメージされるかもしれませんが、いまや「国際観光温泉文化都市」へと変貌を遂げています。大学と地域が共生する国際色豊かなこの町に一度足を運んでみませんか。

「山は富士 海は瀬戸内 湯は別府」

別府観光の父・油屋熊八が詠んだように、別府といえば、温泉です。別府駅前では熊八の銅像とともに手湯がお出迎えます。一口に別府温泉といっても、昔の温泉郷の名残から8つのエリアがあり、「別府八湯」と呼ばれています。泉質・効能・色・匂い・味、それぞれに特徴があり、老若男女の観光客を魅了しています。別府駅や主要温泉で買える「スパポート」を購入し、八十八湯のスタンプを集めると、「温泉名人」に認定されます。温泉好きな方にとって、別府はパラダイス。到着されたら、まずは『別府八湯 温泉本』を購入して、温泉情報と無料券を手に入れ、時間が許す限り、温泉巡りを楽しんでください。

地図で見るより近い別府

交通面においてはどこからでも容易にアクセスできます。例えば、羽田から大分空港まで約1時間半、それからAPUまでバスで1時間足らずです。APU 行きのバスに乗れば、迷うことなく終点のAPUに辿り着けます。

また、福岡空港や天神からは高速バス1本、しかも2時間弱でAPUと直結している「別府湾サービスエリア」に到着します。

関西方面からはJRではもちろんのこと、フェリーで安く来ることも可能。夜、大阪南港からフェリー「さんふらわあ」に乗れば、翌早朝別府観光港に着きます。そこからAPUまではバスで20分ほど。意外と便利でしょ。

観光地ならではの、多彩な宿泊施設

観光地として発展してきた別府市には宿泊施設が多く、旅のスタイルやご予算に合わせてお選びいただけます。例えば、老舗の和風旅館、別府湾を望める海沿いのホテル、外国人観光客にも人気のゲストハウスなど、多種多様。もちろんどの施設も温泉完備です。多くの宿泊施設では別府湾でとれた海の幸や大分の豊かな食材を用いた自慢の料理が楽しめます。鉄輪エリアには別府名物、温泉の蒸気で調理した地獄蒸しを提供しているホテルもあります。別府駅周辺での宿泊なら、商店街を散策しながら、別府の隠れた有名店を食べ歩くのもおすすめです。

